

令和8年3月31日

軽井沢町議会

議長 川島 さゆり 様

会派：参政党

議員名：小林 天馬

研修報告書

「参政党議員団勉強会」

- 1 日時 令和7年5月16日（金）午前10時半より
- 2 場所 参議院会館 講堂
- 3 出席者 小林天馬
- 4 研修内容 外国人問題に対する論点整理
 - 1) 技能実習制度の現状と課題
 - ・制度の目的と実際の現場の乖離
 - ・人権問題、働かせ方、帰国後のフォロー体制
 - ・自治体や企業側の支援体制とその限界
 - 2) 保険・年金制度の利用状況と不正受給問題
 - ・国保・介護保険の不正利用と滞納問題
 - ・自治体から入管への情報連携の仕組み
 - ・脱退一時金の扱い、永住者の制度的矛盾点
 - 3) 出入国在留管理・入管制度の実態と課題
 - ・呼び寄せの審査実態と制限のあり方
 - ・起訴率の実態、日本語の通じない容疑者への対応
 - ・地方自治体との情報共有の現状

◎考察

本研修は、政府関係省庁から直接説明を受けるという大変貴重な機会であり、技能実習制度、社会保障制度、入管行政に関する現状と課題について、実際の統計データや運用実態に基づいた具体的な理解を深めることができた点で、非常に有意義であった。

とりわけ、制度上の建付けと現場運用との間に生じている乖離や、自治体・企業・国それぞれの役割分担の中で生じている限界が、数値と事例の双方から明らかになったことは重

要である。技能実習制度における人権面の課題や、社会保険制度における負担と給付の不均衡、さらには入管行政における情報連携や対応体制の課題など、いずれも制度の持続可能性に関わる論点であると認識した。

また町議会議員として、外国人受入れ政策の実態を正確に把握することの重要性を改めて認識するとともに、現行制度のままでは地域社会や行政現場に対する負担が一層増大する可能性があるという危機感を強くした。特に、地方自治体が最前線で対応を迫られている現状を踏まえると、国と地方の役割整理および制度設計の見直しは喫緊の課題である。

今後は、本研修で得た知見を基に、地域の実情に即した政策提言を行うとともに、制度の公平性・持続性を確保する観点から、必要な改善策について議会活動を通じて具体的に提起していきたい。

以上の通り報告します。